

# 授業計画書(シラバス)

教科名	平面	曜日 時間	金曜日 9:10～12:00	担当者名	西 治子
-----	----	----------	-------------------	------	------

	前期指導案			後期指導案		
(年間 2回 6授 業日)	4月	15 22		10月	7 14 21 28	
	5月	13 20 27		11月	4 11 18 25	
	6月	3 10 17 24		12月	2 9 16	
	7月	1 15		1月	13 27	
	9月	2 16		2月		
方授 法業	( 講義 ・ <b>実技</b> )			( 講義 ・ <b>実技</b> )		
業 内	<p>1.鉛筆による細密描写—3次元の表出(4/15～6/17 全8回) 【モチーフ】スニーカー1足とガラス製品またはペットボトル1個 ・課題に入る前に、A4コピー用紙を用いたエクササイズ ①匿名オーダーメイド画像 ②極大と極小のオブジェを作る</p> <p>2.明暗と色彩の研究—「10年絵巻」を作る(6/24～9/16 全5回) ①色相、明度、彩度「色の三属性」について学ぶ ②講師が準備した用紙にテーマごとに着色する(色鉛筆) ③クラフト用紙を用いて、自身の過去10年間の出来事をテーマに色彩で表現する 日本の古典的な絵巻物の様式を採用してみる</p>			<p>3.イメージの変容(10/7～11/18 全7回) ・古典から現代美術まで、多くの人々にイメージが共有されているアート作品1点を選びました、オリジナルと異なる手法で再表現する(素材は自由、各自準備)</p> <p>4.選択課題(11/25～1/27 全6回) ①マスクもうひとつの顔 ②箱の中のインナースケープ(原風景) *①②ともクラフト全紙の他の素材、箱等は各自で準備</p>		
到達 目標	<p>1.エクササイズでは学生が互いにオーダーと制作を行い、画像を批評し合う。言葉がさまざまに解釈されイメージが作られることを体験する。また、同素材、同サイズの紙片から印象の異なる造形が生まれることを認識し、創造の可能性について話し合う。 細密描写ではモチーフの質感、量感を正確にとらえ、物の本質にせまる洞察力を養う。</p> <p>2.固有色を用いた古典絵画から外光派(印象主義)、色彩の主観的表現(抽象表現主義など)をたどり、色と配色が与える効果について考える。近代の色彩学の歴史を学ぶ。自身の色彩の傾向をカラーチャートを作りながら明確にしていく。それぞれの個人史をテーマに自由な色彩表現を行う。</p>			<p>3.例えば「モナリザ」、ピカソの「泣く女」、ムンクの「叫び」。美術史上のアイコン的な作品を自分の中に取り込むことによってどのような化学反応が起こるだろうか。確立され広く知られた作品をモデルとした時、湧き上がる様々な想い、感情を新鮮な気持ちで受け止める。平面を立体に代えるなど、異なる手法でアレンジする。</p> <p>4. ①アフリカのプリミティブな面、敵を威嚇する面、防御のマスク、カーニバルのマスク、日本の能面。他者を感じさせ、自分が変わるイメージの増幅を目指し、色と形を駆使して制作する。</p> <p>②自身の内面を象徴するオブジェを収集または作成し、箱の中に心象風景を出現させる。箱の選定から始め、「箱を考える、箱で考える、箱に教わる」。古今東西の箱に関わるアートも探してみたい。</p>		
成績 評価	<p>1.エクササイズそのものは特に評価の対象とはしないが、新しい視点でアートに取り組む姿勢や意欲があるか、他者の取り組みに関心を持ち、積極的に語り合うかを見たい。細密描写では対象との距離と正しい姿勢、明暗の諧調への意識、鉛筆の削り方といった初歩的なことができているか。デッサンは一朝一夕に上達しないことをふまえ、根気よく最後まで描写に集中したか。その上で描写の密度、到達目標に基づくポイントの評価していく。</p> <p>2.チャートを全て完成させたか。「絵巻物」のリサーチが充分できたか。10年という枠組みに沿って、何種類ものアイディアスケッチ、ドローイングを行ったか。着色の画材を検討し、試してみたか。講評日までに完成させたか。</p>			<p>3.モデルの選定、手法の決定、取組の角度、それぞれの過程に時間と労力をかけているか。イメージの変容について自分なりの発見があったか。アレンジメント(解釈)のアイディアを多くスケッチしたか。課題を自分に引き寄せ、積極的に制作したか。</p> <p>4. ①さまざまなマスクをリサーチしたか。国、民族、伝統文化、生活習慣など、人間にとってのマスクの役割、歴史、機能など多様な視点から考えてみたか。イメージ通りに仕上がったか。オリジナリティはあるか。</p> <p>②中に収めるオブジェを数多く収集し、または制作したか。自己のインナースケープを表す形をたくさんスケッチしたか。「箱」の解釈についてさまざまな考察しているか。作品に小宇宙としての広がりを感じられるか。既存のボックスアートをリサーチしたか。 ①②とも講評までに完成させ、設営、展示が成功しているか。</p>		
留意 事項	<p>1.【研究所準備】 デッサン用木製パネル、希望者にイーゼル、 四つ切 鉛筆デッサン用M画用紙 人数分、 A4コピー用紙 適宜</p> <p>【学生準備】 細密描写のモチーフ、クロッキー帳(なるべく大きなサイズ) 描写用具一式、鉛筆、マスキングテープ、セロテープ、カッターナイフ、のり、 ハサミ、色鉛筆(以上、年間を通じて使用するののでいつも手元に置いておく)</p> <p>2.【研究所準備】 クラフト全紙(4枚入りロール)人数分、課題2、3、4で補助として用いる</p>					